

群馬大学ダイバーシティ推進センター まゆだま通信



ダイバーシティ推進センター シンポジウム 開催

令和6年3月11日、「画一性と排除」から考える「多様性と包摂 (Diversity&Inclusion)」と題して、群馬大学情報学部准教授の高井ゆと里氏にご講演いただきました。西洋哲学、生命倫理学がご専門の高井氏は、群馬大学で教鞭をとりながら、各地のシンポジウムや講座でトランスジェンダー問題について深く切り込まれています。ご講演では、「なぜ多様なのか?」、「排除はどこにある?」、「D&Iの未来」の3本立てのお話を伺いました。「なぜ女性がいた方がいいの?」と投げかけるのではなく、女性が排除されているという事実や女性排除を問題視しない姿勢、すなわち、「問われるべきは排除」であると例を挙げながら丁寧にお話しいただきました。そして、画一性を前提とした環境で、「どうすれば排除がなくなるか??」、ダイバーシティワークの重要性とそのための労力の押し付けをなくすようにと、凛と一方向を見据えてご講演されていた姿が印象的でした。

続いて、「マイノリティにとってのキャンパス」をテーマに、高井氏、関采音氏（群馬大学障害学生サポートルーム）によりご対談いただきました。学生との接点が多い障害学生サポートルームの立場から、学生相談や担当教員との授業等の調整、配慮を必要とする学生の支援について、分かりやすくお話しいただきました。

講演中、14時46分に、東日本大震災で被災された方々への黙とうを捧げました。141名の関係者にオンラインで参加いただき、ご講演に対する質問も多く上がり、盛会のうちに終わりました。



News Letter

■発行
国立大学法人群馬大学
ダイバーシティ推進センター

〒371-8510
群馬県前橋市荒牧町4-2
TEL: 027-220-7146
FAX: 027-220-7143
mail:kyodo-sankaku@ml.gunma-u.ac.jp
HP:http://kyodo-sankaku.gunma-u.ac.jp/

2024.3

vol.34



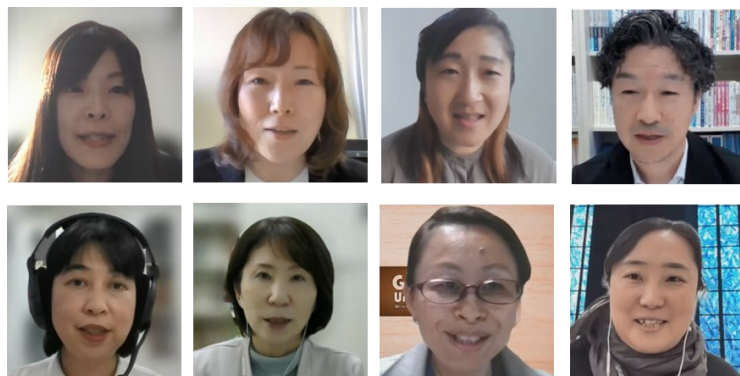
第14回ぐんまダイバーシティ

推進地域ネットワーク会議および講演会 開催

令和5年11月9日、第14回ぐんまダイバーシティ推進地域ネットワーク会議、及び講演会をオンラインで開催しました。会議では、各会員機関から情報共有事項、シーズ集の現状、群馬県が主催するセミナーなどの報告があり、ダイバーシティ推進に向けて活発な意見交換を行いました。

講演会は、「研究者のワーク・ライフ・バランス」と題して、副会長校の東京福祉大学からファシリテーターと3名のシンポジストが登壇し、各教員からこれまでのライフストーリーについてお話いただきました。ディスカッションでは、大学教員が抱える仕事と子育て、これから直面する老親の介護との両立に関する悩みや葛藤を共有し、参加者と活発な意見交換を行いました。講演会に参加してくださった54名の皆様、ありがとうございました。

本ネットワークでは、引き続き、群馬県のダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンを推進するために、会員機関との連携を強化していきたいと思っております。



理工学府大学院進学を考える講演会 開催

令和5年11月15日、理工学府および理工学部ダイバーシティ推進委員会を中心に理工学部において主に学部3年生を対象に大学院進学を促す講演会を開催しました。講演者4名(社会人OG、教員、両立支援アドバイザー、現役大学院生)により、大学院に進学した動機やメリット・デメリット、研究内容、就職、仕事内容、仕事と家庭の両立などについての講演が行われました。今回の講演会のサブタイトルは「大学院という選択・未来へ羽ばたくあなたへ」ということで、特に大学院進学に迷っている学生だけでなく、そうでない広い進路選択を考えている学生に対しても積極的に参加を促し、未来の自分に参考となるような話題を各立場の方々から講演いただきました。

コロナウィルスによるパンデミックがひと段落したこの時期に、従前のように対面形式に戻しての開催も検討いたしました。気軽に多様な学生が聴講できるオンライン形式のメリットを最大限活用しようと、今回もZOOMによるオンライン開催といたしました。参加人数は82名(学生68名、教職員13名、その他1名)と盛況でした。アンケート結果では、本講演会が「有益であった」が約89.8%、「大学院進学が気持ちが強まった」「選択肢に入れてみようと思った」が約85.3%あるなど、学生に進路を考えていただく上で良い機会になったと考えています。今後も、学生にとって将来を考えるヒントになるようなイベントを企画していく予定です。



講演会 性の多様性について考えよう

～互いの違いを尊重できる社会を目指して～

令和6年1月9日、群馬県のLGBTQ支援団体「ハレルワ」の間々田 久渚（ままだ ひさな）代表とスタッフの山田氏をお招きして講演会を開催しました。ジェンダー論を履修している群馬大学の学生及び宇都宮大学の学生 約240名のほか、本学の学生や教職員を含め計270名が参加しました。講演会では、セクシュアリティは一人ひとり違うことを丁寧に教えていただきました。

LGBTQは、左利きや血液型がAB型の人くらいいます。しかし、「なぜ自分のまわりにはいないと思うのか？」という問いでは、マジョリティには見えていない、差別・偏見・困難があるからカミングアウトできていない等の説明があり、多くの参加者がハッとしたのではないのでしょうか。マジョリティ側の方は、LGBTQの人が日頃どのような経験をしているのか（してきたのか）お聴きする機会が少ないため、今回の講演会は、LGBTQの知識だけでなく、自身の認識なども振り返る機会になったことと思います。

講演会では、ハレルワの活動紹介もあり、群馬県内で活動・支援の輪が広がっていることを感じました。本稿では、ハレルワの活動について、少しご紹介いたします。



一般社団法人「ハレルワ」のご紹介



ハレルワ

「ハレルワ」は、2015年に群馬県内でLGBTQ当事者と支援者(アライ)の団体として発足しました。主な活動としてLGBTQの居場所づくり、啓発活動として学校・自治体・病院・企業等での講演など、通年LGBTQ・人権に関する啓発活動をおこなっています。ほかにも交流会「ハレの輪」の開催やLINE相談にも対応しています。行政とも連携して活動しており、群馬県は、「ぐんまパートナーシップ宣誓制度」（2020年）を都道府県では3番目に導入しました。

(HP : <https://hareruwa.org/>)

まちのほけんしつ

生きづらさを抱える一人一人が安心できるような居場所をつくるために、2021年、不登校や引きこもりを支援する「アリスの広場」と「ハレルワ」の共同プロジェクトでコミュニティスペース「まちのほけんしつ」（通称：まちほけ）をつくりました。「アリスの広場」（水・木 13～17時）、「ハレルワ」（火・金・日 14～18時）で運営されています。群馬県全域の学校で講演活動をされているため、「まちのほけんしつ」は県内の多くの生徒たちに知られているようです。

(HP : <https://machihoke.space/>)



まちのほけんしつ

〒371-0022

群馬県前橋市千代田町4丁目18-4



【公募案内】令和6年度共同研究促進事業

本学における女性研究者等が学際的・挑戦的な共同研究のリーダーへと経験を広げるためのポジティブアクションとして、共同研究等を促進するために2種の研究助成を行います。

【公募期間】

令和6年3月25日(月)～令和6年4月22日(月)

【タイプ】

A型：外部資金の獲得や大型の共同研究等をめざし、

プロジェクトリーダーとなる共同研究に対する助成

B型：研究開発の契機や共同研究の発展に資する研究会等の

実施に対する助成

◆詳細や申請書のダウンロードはセンターのホームページをご確認ください

https://kyodo-sankaku.gunma-u.ac.jp/support_05-2/

募集! 令和6年度 共同研究促進事業 A型 B型

!! 共同研究を促進します!!

女性研究者がプロジェクトリーダーとなるための研究助成です。実際にグループリーダーとして共同研究を行ったり、また、共同研究着手への初めの一歩に繋がるようにご活用ください。
※【B型】は男性も応募できます※

A型 プロジェクトリーダー促進助成 **50万円**
女性研究者が、大型の共同研究等のプロジェクトリーダーを目指すための共同研究。
＜応募資格＞ 教授、准教授、講師、助教等の女性研究者。

B型 研究会・セミナー 企画助成 **10万円**
新しい研究の契機や共同研究の発展に繋がる研究会やセミナー等の開催。開催費用の他、共同研究の準備等の消耗品にも支出可。
＜応募資格＞ 教授を除く、本学の男女の研究者。
但し男性の場合は、共同開催者に本学の女性研究者を企画含む。

＜公募期間＞ 令和6年3月25日(月)～4月22日(月) 期間厳守

＜詳細・申し込み＞
このQRコードまたは、https://kyodo-sankaku.gunma-u.ac.jp/support_02/ から(無償ダウンロード)※
※無償ダウンロード
https://kyodo-sankaku.gunma-u.ac.jp/support_05-2/
※電子申請先
群馬大学ダイバーシティ推進センター
kyodo-sankaku@ml.gunma-u.ac.jp TEL:027-220-7143 (内線7143)

【開催案内】第15回研究力アップ講座

研究者自身が、様々なツールを用いて大学内外の幅広い研究者、学生、一般の人に対して有益な広報活動を効率よく行うことは、「研究人材の確保」「研究費獲得」「研究内容の認知」等、多大なメリットをもたらすと考えられます。しかし、広報活動のノウハウを学ぶ機会に限られているため、本セミナーでは広報手法、科学コミュニケーションなどについて講義いただきます。

日 時：令和6年3月28日(木) 13:00～14:30

場 所：生体調節研究所およびZOOM

講 師：倉田 智子 氏 (基礎生物学研究所 広報室 RMC助教)

◆お申込みは左のQRコード

または <https://forms.gle/g6o3nRbF84EqaUDGA> よりどうぞ

群馬大学ダイバーシティ推進センター 第15回研究力アップ講座

研究者のサイエンスコミュニケーション

研究者自身が、様々なツールを用いて大学内外の幅広い研究者、学生、一般の人に対して有益な広報活動を効率よく行うことは、「研究人材の確保」「研究費獲得」「研究内容の認知」等、多大なメリットをもたらすと考えられます。しかし、広報活動のノウハウを学ぶ機会に限られているため、本セミナーでは広報手法、科学コミュニケーションなどについて講義いただきます。

2024年3月28日(木)
13:00～14:30
【ハイブリッド開催】
生体調節研究所会議室&Zoom

【お申し込み】
対象：群馬大学教職員(非常勤含む)、学生、大学院生
定員：全席50名(オンライン300名)
下記URLまたはQRコードよりお申込みください
<https://forms.gle/g6o3nRbF84EqaUDGA>
締切：2024年3月18日(月) → 3月26日(火) 締切日延長
※手話通訳を予定しています。お申し込み時にお知らせください。

講師 倉田 智子先生
大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 基礎生物学研究所 広報室 RMC助教
1997年筑波大学(第二学群)生物学専攻卒業。2003年3月総合研究大学院大学 生命科学科修士、博士(理学)。2003年4月より同総合バイオサイエンスセンター 研究員を経て2006年より自然科学研究機構 基礎生物学研究所でサイエンスコミュニケーションに関する研究を開始。

主催：群馬大学 ダイバーシティ推進センター
共催：群馬大学 生体調節研究所
連絡先：kyodo-sankaku@ml.gunma-u.ac.jp

【公募案内】令和6年度後期研究活動支援制度

本学における研究者等がその能力を最大限発揮できるよう、出産、育児、介護などのライフイベント等と研究活動とを両立するため研究活動支援者の配置を希望する者を募集します。

【利用期間】

令和6年10月1日～令和7年3月31日

【申請締切】

令和6年4月25日(木)送信有効

◆応募資格の詳細や申請書のダウンロードはホームページをご確認ください

https://kyodo-sankaku.gunma-u.ac.jp/support_02/

募集! 令和6年度 後期 研究活動支援制度

!! 研究支援者を雇用する費用を補助します!!

群馬大学では、出産・育児・介護などのライフイベント等*を抱えている教職員を応援しています
*産前・産後を抱えている方や加齢関連の方も含みます

＜しめきり＞
令和6年4月25日(木) 送信有効

＜申請方法＞
申請書の形式と詳細は、右のQRコード、または
https://kyodo-sankaku.gunma-u.ac.jp/support_02/ から確認の上、ダイバーシティ推進センターへメールで提出

＜利用期間＞
令和6年10月1日～令和7年3月31日

＜応募資格＞
本学で研究に従事している教職員(非常勤教職員)においては社会保険に加入するに際して、ライフイベント等に関する費用を助成する研究員(※)に該当する研究員(※)に雇用されている研究員であることが必要です。(※1)
※(※1)詳細は右のQRコード(ワンストップ)から「募集要項」及び「実施要項」をご覧ください。また、お問い合わせの際は「申請者記入の仕方とQ&A」をご確認ください。

＜問い合わせ先＞
群馬大学法人群馬大学 ダイバーシティ推進センター
<https://kyodo-sankaku.gunma-u.ac.jp>
kyodo-sankaku@ml.gunma-u.ac.jp TEL:027-220-7143(内線7143)